

21 ベトナム 中小企業支援事業

中小企業への融資の量的
質的改善と銀行の能力強化を支援

承諾額／実行額 40億円／39億3,700万円
借款契約調印 1999年3月
借款契約条件 金利0.75%、返済40年(うち据置10年)、部分アンタイド
貸付完了 2005年3月
実施機関 ベトナム国家銀行 URL: <http://www.sbv.gov.vn/>



本事業の目的

ベトナム中央銀行および取扱銀行[※]を介したツーステップローンを4大都市圏を中心としたベトナム全体で実施することで、中小企業の育成に必要な中長期資金の供給およびその融資能力強化のためのコンサルティング・サービスを行うことにより、ベトナム金融機関の中小企業向け融資の量的・質的拡大をはかり、民間中小企業の育成とベトナムの市場経済化に寄与することを目的とする。

※ 取扱銀行:ベトナム工商銀行、ベトナム投資開発銀行、アジア商業銀行、東アジア商業銀行

本事業実施による効果(有効性・インパクト) 評価a

ツーステップローン取扱銀行を通じた中小企業への量的な資金供給は計画値を大きく上回り(2004年時点、計画比約180%)、リボルビングファンドの運用も順調に行われている。また、本事業資金による融資が不良債権化した例は少なく、堅実な融資判断が行われていると判断される。自己資本比率の高い貸出先企業は、融資後に純利益を着実に伸ばす傾向がみられたことから、中小企業の経営改善を着実に進めるためには、自己資本をより多く準備できる企業への融資が望ましい。さらに、取扱銀行ではプロジェクトリスクの定量的な評価や継続的取引関係を考慮しながら、担保以外の要素も考慮した融資判断を始めており、取扱銀行の能力強化がうかがわれる。よって、本事業の実施により概ね計画通りの効果発現がみられ、有効性は高い。

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) 評価a

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画と合致しており、事業実施の妥当性はきわめて高い。審査時点、事後評価時点のいずれでも、競争力強化、雇用創出、裾野産業育成を背景に中小企業支援が重視され、中小企業が必要とする投資資金の不足を緩和することが課題となっている。

事業実施の経済性(効率性) 評価b

本事業は、事業費についてはほぼ計画通りであったものの、期間が計画を上回った(計画比113%)ため、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延のおもな要因としては、借款契約の発効の遅れが挙げられる。情報システムは各取扱銀行内で稼働しているが、当初予定された銀行間のシステム構築には至らなかった。

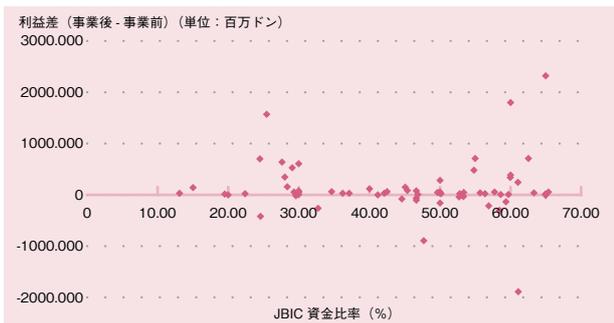
今後の展望(持続性) 評価a

本事業は実施機関の能力および維持管理とともに問題なく、高い持続性が見込まれると評価される。取扱銀行でのトレーニングセミナーへの満足度は高く、セミナー参加者が各銀行で講師役となり、技術の普及と定着を進めるなどの取組みも見られた。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は非常に高いといえる。本事業の教訓として、支援対象となる中小企業の定義は事業目的との整合性を考慮すること、情報システムの構築には十分な予算と時間を確保し、また事業対象以外の金融機関の参加も視野に入れることが挙げられる。

JBIC 資金比率と事業前後の利益差



開発途上国専門家の意見

本事業はベトナムのアジア通貨危機からの回復を支援し、時機を得たものであった。また、取扱銀行は現在、中小企業向けに質の高い金融サービスを提供している。

専門家の氏名: Mr. Duong Duc Ung (公的部門)
元・計画投資省(MPI)／対外経済関係局局長。現在もMPIにてアドバイザーとしてベトナムにおけるODA業務に関与。専門は経済・財務。